

## はじめに

このたび、広報ふじ創刊五百号を記念して小誌「ふるさとの昔話」を発刊することになりました。ここに掲載した昔話は、昭和五十四年以来広報ふじに連載中の昔話をひと区切りして編集したものです。既に百話を超えています。こんなにもたくさん昔話があったのかと今さらながら驚くと同時に、祖先の心のぬくもりが伝わる大切な文化遺産を、これからも永く大切に語り伝えていかなければならないと、つくづく感じさせられました。

なお、この連載に当たっては、郷土史家の鈴木富男先生に多大な御指導・御協力をいただき、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

また、連載中、多くの読者の皆さんからも貴重な御意見や埋もれていたお話やら、思い出話なども聞かせていただき、大変参考になりました。ありがとうございます。ともあれ、多くの皆さんの御協力でできたこの小誌が、座右の友として活用され、御家族のだんらんのひととき、親子ふれあいの一助になれば幸いです。

平成元年三月

# 「ふるさとの昔話」 発刊にあたって

富士市長 渡辺彦太郎

ふるさとの昔話…を思いつくままに記してみると、市内の比奈というところには「今は昔、竹とりの翁というものありけり」で始まる竹取物語の発祥の地「竹探塚」が現存します。塚のある付近には「赫夜姫」「見返し坂」などが、や姫にまつわるゆかりの地名があり、県外からも多くの見学者が訪れております。

また、治承四年に起きた富士川源平合戦は、日本の歴史を大きく変える事件であり、その史跡の「平家越え」「源太坂」「呼子坂」の碑が戦国時代のこの地の歴史を物語っています。あるいは、建久四年、富士の巻き狩りを舞台にしての曾我五郎、十郎のあだ討ち物語は、曾我寺・虎御前など今も残る幾つかの史跡・伝説とともに語り継がれており、私自身大変懐しく思い起こします。

このような伝説や昔話は、史実にまつわるもの、宗教や信仰によるもの、あるいは偶然から出たものなど、その起ころはさまざまありますが、いずれもその時々には生きた人々の生活や習俗、人情などを描きながら人間の喜びや悲しみを伝えており、私は大変興味を持っている一人であります。

しかし、こうした味わいのある美しいふるさとの物語が、ともすれば見失われがちなことから、「広報ふじ」でシリーズで紹介している「ふるさとの昔話」を一冊に編集してみました。それぞれ御紹介の折には、土地つ子、古老等に取材をいたし地域に根づいたなまのお話であります。願わくば、この「ふるさとの昔話」を多くの市民に読んでいただき、語り継いでくれることを期待しております。

# 目次

はじめに

「ふるさと」の昔話」発刊にあたって

富士市長 渡辺彦太郎……………1

## ◆昭和五十四年

お正月の餅をつかない桑崎・鶴無ヶ淵部落

(一月一日号)……………8

## ◆昭和五十五年

猿ばんどじう

かりがね堤の人柱

お不動さんの白蛇

立願たつがんとま淵のお膳

いけにえ淵の毒蛇どくだ①

いけにえ淵の毒蛇②

(一月一日号)……………10

(二月五日号)……………12

(二月五日号)……………16

(四月五日号)……………18

(五月五日号)……………20

(六月五日号)……………22

死がいが消える永明寺の正門

(七月五日号)……………24

富士山がだんだん高くなった話

(八月五日号)……………26

竹取物語

(九月五日号)……………28

眼病を治してくださる仏様

(十月五日号)……………31

三四軒屋の唐人の根っこ

(十一月五日号)……………33

上田の子安地蔵さん

(十二月五日号)……………36

## ◆昭和五十六年

実相寺の仁王さん

うなぎの蒲焼かやま 間の宿柏原

(一月一日号)……………38

わがまちの紙のルーツ

(二月五日号)……………41

一、現在

(二月五日号)……………44



高橋勇吉の天文姫	(二月五日号)	90	浮島沼の沼のばんばあ	(四月五日号)	116
宮下の伊勢塚さん	(二月五日号)	92	大洲曾比奈の逆杉	(五月五日号)	118
清勇の狐	(四月五日号)	94	神戸の雨(い)おまんたら	(六月五日号)	120
平垣町の札の辻橋	(五月五日号)	96	馬車鉄道	(七月五日号)	122
盛んだつた霊場巡り	(六月五日号)	98	今宮の火祭り	(八月五日号)	124
山中共古			聖徳太子の富士登山	(九月五日号)	126
・「吉居雑話」より	(七月五日号)	100	砂山のお地藏さん	(十月五日号)	128
・「吉居雑話」お盆の行事			伝法のカンカン堂	(十一月五日号)	130
			江尾のおしやごつさん		
落合の帳塚様	(八月五日号)	102		(十二月五日号)	132
滝川のいぼとり不動	(九月五日号)	104	◆昭和六十年		
木の宮さん	(十月五日号)	106	大洲の雨ふり山	(一月一日号)	134
善得寺城	(十一月五日号)	108	吉原の身代わり地藏さん		
◆昭和五十九年	(十二月五日号)	110			
愛鷹山の天狗	(一月五日号)	112	善光島のきつね	(二月五日号)	136
大洲沼水のおさんの宮	(二月五日号)	114	今泉一の宮の曾我堂	(三月五日号)	138
				(四月五日号)	140

下横割のお茶ばあさん (五月五日号) …… 142

岩本万野の天狗岩 (六月五日号) …… 144

富士岡のいちよう地蔵 (七月五日号) …… 146

田子浦新浜の備前さん (八月五日号) …… 148

西仲町の子育て稲荷 (九月五日号) …… 150

井戸神様 (十月五日号) …… 152

天間川坂の手無観音 (十一月五日号) …… 154

江尾のごぜの森 (十二月五日号) …… 156

◆昭和六十一年

神谷の正月坂 (一月一日号) …… 158

三ツ沢水で苦勞した話 (二月五日号) …… 160

本市場のかさ守稲荷さん

(三月五日号) …… 162

かつぱの恩返し (四月五日号) …… 164

岩本の妙法天狗 (五月五日号) …… 166

大淵小僧 (六月五日号) …… 168

清勇橋の川天狗 (七月五日号) …… 170

慶昌院の幽霊 (八月五日号) …… 172

ネギをつくらぬ宇東川

(九月五日号) …… 174

中丸の弁天さん (十月五日号) …… 176

天間に伝わる親孝行な重介

(十一月五日号) …… 178

曾比奈のおしやもつさん

(十二月五日号) …… 180

◆昭和六十二年

下川成の歯痛を治す地蔵

(一月一日号) …… 182

曾比奈の八王子神社 (二月五日号) …… 184

中島の子育て地蔵 (三月五日号) …… 186

増川の黒仏さん (四月五日号) …… 188

柚木のお天白さん (五月五日号) …… 190

水のない須津川	(八月五日号)	192	天間田代の矢筒石	(六月五日号)	216
宮島新田の馬頭観音	(七月五日号)	194	和田川のおその水道	(七月五日号)	218
川尻二丁目の荒ね間のキツネ	(八月五日号)	196	山王神社の守り神 鯨島四郎宗家	(八月五日号)	220
富士川流域に伝わる投げだいまつ	(九月五日号)	198	丘のからかさ木	(九月五日号)	222
曾我の首洗い井戸	(十月五日号)	200	狸久保の犬の字の呪文	(十月五日号)	224
平井島のいいなり地蔵	(十一月五日号)	202	富士本西の一本杉	(十一月五日号)	226
柚木の柚木神社	(十二月五日号)	204	宮下の水神待	(十二月五日号)	228
◆昭和六十三年			◆昭和六十四年		
ごんごん焼き	(一月一日号)	206	大洲大峯山の蛇塚	(一月一日号)	230
神様と天狗の山づくし	(二月五日号)	208			
今泉の源太坂	(二月五日号)	210			
津田に伝わる猫のタマ	(四月五日号)	212			
中村町のほおなでの楨	(五月五日号)	214			

表紙・裏表紙の絵  
 新興美術院理事・同富士支部長  
 菊池 証 寿